

熊本県州立モンタナ大学高校生派遣事業（担当課：高校教育課）

県内高校生23名に対し、州立モンタナ大学附属の語学学校で語学研修を受講するための費用（一部）を助成しました。昨年7月20日から8月6日までの18日間、州立モンタナ大学で集中的な語学研修を受講したほか、地域の人々との交流を通じて異文化を体験するとともに、遺跡・文化施設や国立公園などでの研修で見聞を広めました。研修の前後でTOEFL Juniorの点数が上がったほか、海外留学への意欲や積極性がさらに高まるなど、大きな成果が出ています。

語学研修の内容

アメリカ文化の理解を通じて英語の4技能（読む・聞く・話す・書く）の力を伸ばすことが目的。

- ◆英会話ストラテジー：ロールプレイを交えながら、日常会話を練習。
- ◆ポスタープレゼンテーション：アメリカの食生活等のテーマを設定し、現地のイベントで見物客に聞き取り調査を行い、その結果をまとめて英語で発表。
- ◆フィールドキャンプ：グレイシャー国立公園にある大学附属の研究施設での研修を通じて学んだモンタナの自然環境等について英語でまとめ、発表。 など

助成対象者の声

- ・最初は聞き取れるのも単語くらいで、聞き取る方に集中しすぎて、自分の意見を言えずに会話が終わることが多かったです。そのため、最初の1週間は自分から話しかけられずにいました。でも友達との会話を全て英語にしたり、わからなくても反応を大きくして気持ちを込めたり、様々な工夫をしてみました。するとだんだんと自信をつけることができ、自分から話しかけられるようになりました。この経験から、外国の人と会話をする上で大事なのは、自分の英語に自信を持ち、積極的に反応することだと学びました。
- ・毎日、授業終わりにあるイブニング・アクティビティで様々な場所を訪れたのですが、自分の周りで様々な言語が飛び交っていて、多文化社会を実感できたような気がして興味深かったです。
- ・私がアメリカで学んだ最も大切なことは、「世界は広く多様である」ということです。アメリカでは、あまりに多くのものが私の中の常識と異なっていて、少なからずショックを受けることもありましたが、しかしそれ以上に私の世界を大きく広げてくれるものでもありました。私はこれからも、新しい感動を求めて広い世界へと飛び出していこうと思います。



※熊本県州立モンタナ大学高校生派遣事業については、生徒の感想などをまとめた事業報告書（A4・60ページ程度）を作成しています。部数に限りがありますので、ご希望の方は、お手数ですが最終ページのお問い合わせ先までご連絡いただきますようお願いいたします。